

2023年7月試験まで対応の模擬テストをご購入いただいた皆様へ

第46回(2023年11月実施)以降の検定試験を受検される場合は、法改正に基づき、弊社が発行した知的財産管理技能検定の模擬テストの内容について、次の通り、変更・修正のうえ、ご利用いただきますようお願いいたします。

実施回	試験日	法令基準日
第46回	2023年11月18日(土)	2023年5月1日
第47回	2024年3月10日(日)	2023年9月1日
第48回	2024年7月21日(日)	2024年1月1日

※知的財産管理技能検定の解答にあたっては、問題文に特に断りがない場合、試験日の6カ月前の月の1日現在で施行されている法令等に基づくものとされています。

■ 2級模擬テスト

該当箇所	変更前	変更後
実技 問題 P18 問 38～問 40 問題本文 上から 3 行目	ここで、コンピュータプログラムの著作物をコンピュータにおいてより効果的に 利用 し得るようにするために行われる改変に対して、	ここで、コンピュータプログラムの著作物をコンピュータにおいてより効果的に 実行 し得るようにするために行われる改変に対して、
実技 解答解説 P19 問 39	<u>問 39 正解：及ばない</u> 同一性保持権の効力は、コンピュータプログラムの著作物をコンピュータにおいてより効果的に 利用 し得るようにするために行われる改変に対して及びません（著 20 条 2 項 3 号）。	<u>問 39 正解：及ばない</u> 同一性保持権の効力は、コンピュータプログラムの著作物をコンピュータにおいてより効果的に 実行 し得るようにするために行われる改変に対して及びません（著 20 条 2 項 3 号）。

■ 3級模擬テスト

該当箇所	変更前	変更後
学科 問題 P5 問 13 選択肢イ	イ 他人の氏名や著名な芸名を含む商標について、商標登録を受けることができる場合がある。	イ 他人の氏名や著名な芸名を含む商標について、商標登録を受けることができる場合がある。
学科 問題 P6 問 16 選択肢ウ	ウ 契約が有効な契約として認められる条件として、契約内容が確定でき、実現可能で、社会的に妥当な内容であることが求められる。	ウ 契約が有効な契約として認められる条件として、契約内容が確定でき、適法で、社会的に妥当な内容であることが求められる。
実技 解答解説 P6 問 13 選択肢イ	<u>イ 適切</u> 他人の氏名や著名な芸名を含む商標は、その他人の承諾を得ている場合には、商標登録を受けることができます。	<u>イ 適切</u> 他人の氏名や著名な芸名を含む商標は、その他人の承諾を得ている場合には、商標登録を受けることができます。
実技 解答解説 P7 問 16 選択肢ウ	<u>ウ 適切</u> 契約が有効な契約として認められるためには、①当事者が行為能力を有していること、②当事者の意思表示に瑕疵がないこと、③契約内容が確定でき、実現可能で、社会的に妥当であることが求められます。	<u>ウ 適切</u> 契約が有効な契約として認められるためには、①当事者が行為能力を有していること、②当事者の意思表示に瑕疵がないこと、③契約内容が確定でき、適法で、社会的に妥当であることが求められます。